

付録

J-PlatPat を利用する上での参考情報を掲載しています。

付.A	検索のコツ.....	128
付.B	論理式の直接入力について.....	133
付.C	用語集.....	137

付.A 検索のコツ

J-PlatPat をご利用になる上で、知っているると便利な検索のコツを紹介します。
使用可能文字や入力形式については各画面のヘルプをご参照ください。

完全一致と部分一致

検索条件の一種である完全一致と部分一致について説明します。

◆注意◆

各画面の検索項目によって完全一致と部分一致の検索条件は異なります。詳細は各画面のヘルプをご参照ください。

■ 完全一致

検索条件の文字列と完全に一致した用語だけを検索結果として表示する検索です。

■ 部分一致

検索条件の文字列と一部分が合致した用語を検索結果として表示する検索です。

部分一致検索をする場合は、検索条件の文字列の前後にクエスチョンマーク (?) を付けます。

前方一致検索

前方の文字が一致している用語を検索する場合は、共通する文字の後ろに「?」を付けます。
例えば、「ディスプレイ」、「ディスプレイ」、「ディスプレイ用金具」を全て検索結果として表示させたい場合、目的の検索用語に共通する「ディスプレ」の後ろに「?」を付けて検索します。検索用語の前方が一致しているため、前方一致検索と言います。

ディスプレ?

後方一致検索

後方の文字が一致している用語を検索する場合は、共通する用語の前に「?」を付けます。
例えば、「液晶ディスプレイ」、「LED ディスプレイ」を全て検索結果として表示させたい場合、目的の検索用語に共通する「ディスプレイ」の前に「?」を付けて検索します。検索用語の後方が一致しているため、後方一致検索と言います。

?ディスプレイ

部分一致検索

検索用語が含まれる用語を検索する場合は、用語の前後に「?」を付けます。

「液晶ディスプレイ」、「LED ディスプレイ」、「ディスプレイ」、「ディスプレイ用金具」を全て検索結果として表示させたい場合、目的の検索用語に共通する「ディスプレ」の前後に「?」を付けて検索します。検索用語の一部が一致しているため、部分一致検索と言います。

?ディスプレイ?

ワイルドカード

ワイルドカードとは、キーワード中に任意の文字を含むキーワードを検索するための手段です。任意の文字はクエスチョンマーク (?) で指定して検索します。

ワイルドカードが使用できる検索項目については、各画面のヘルプをご参照ください。

特許・実用新案検索の場合、クエスチョンマーク (?) を使用するキーワードは、シングルクォーテーション (') で囲みます。クエスチョンマーク (?) 及びシングルクォーテーション (') は半角で入力します。

- 「無電源」と「発光」の間に任意の 1 文字が含まれたキーワード入力例

'無電源?発光'

- 「無電源」と「発光」の間に任意の 3 文字が含まれたキーワード入力例

'無電源???発光'

また、0 文字以上の任意の文字数を全て検索したい場合は、検索用語の間にアスタリスク (*) を入力します。

- 「無電源」と「発光」の間に 0 文字以上の文字が含まれたキーワード入力例

無電源*発光

AND 検索、OR 検索、NOT 検索

■ AND 検索

複数の検索条件を全て満たすものだけを検索する方法です。

条件「あい」と条件「うえ」を AND 検索にすると、どちらの条件も含む「あいうえ」や「あいうえお」は検索結果として表示されますが、どちらか一方しか含まない「あいお」や「うえお」は検索されません。

AND 検索を行うことで、検索結果を絞り込むことができます。

J-PlatPat では、画面に「AND」が表示されている前後の検索項目行は AND 検索を行います。

検索キーワード

検索項目

要約/抄録

キーワード

ライト

AND

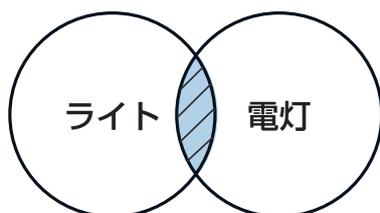
電灯

近傍検索

「ライト」と「電灯」を AND 検索する



重なった部分が検索結果として表示される



■ OR 検索

複数の検索条件いずれかに該当するもの全てを検索する方法です。

条件「あい」と条件「うえ」を OR 検索にすると、「**あいうえお**」、「**あいお**」、「**うえお**」など、どちらかの条件を含んでいるもの全てが検索できます。

OR 検索を行うことで、同じものを別の言い方に変えているものを検索できます。

J-PlatPat では、キーワードとキーワードをスペースで区切ることで OR 検索ができます。

検索キーワード

検索項目

要約/抄録

キーワード

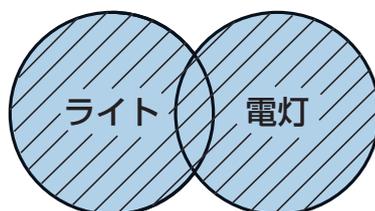
ライト 電灯

近傍検索

スペース区切りで「ライト」と「電灯」を OR 検索する



いずれか 1 つでも条件を満たしたものが検索結果として表示される



■ NOT 検索

特定の検索条件を除外して検索する方法です。

条件「あい」で検索するが、「うえ」を NOT 検索にすると、「あいお」や「あいう」は検索結果として表示されますが、「うえ」を含む「あいうえお」は検索されません。

NOT 検索を行うことで、検索結果を絞り込むことができます。

J-PlatPat では、検索キーワードに対して、検索対象外とするキーワードを除外キーワード欄に入力することで NOT 検索ができます。

検索キーワード

検索項目 検索項目 キーワード

要約/抄録 ▼ ライト 近傍検索

+ 追加

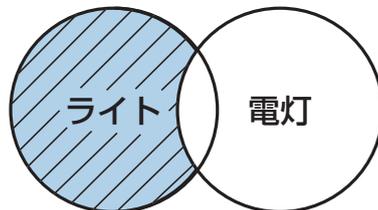
除外キーワード 検索から除外するキーワードを指定します。 閉じる

検索項目 検索項目 キーワード

要約/抄録 ▼ 電灯

「電灯」を除外して、「ライト」を検索する

「電灯」を除外した「ライト」の検索結果が表示される



異表記展開について

公報には、同一の意味であっても異なる表記で記載されている場合があるため、入力されたキーワードを異なる表記に展開（異表記展開）して検索を行っています。

自動的に展開される表記は以下のとおりです。

- 長音記号「ー」、マイナス「-」、ハイフン「-」、ダッシュ「—」
例えば、「1 - 2」と入力した場合、「1ー2」、「1ー2」、「1 - 2」、「1ー2」で検索されま
す。
- 平仮名と片仮名のよう音、及び促音（「ア」と「ァ」、「ツ」と「ッ」、「よ」と「ょ」など）
例えば、「シェア」と入力した場合、「シエァ」、「シエァ」、「シエァ」、「シエァ」で検索されま
す。

- 全角、半角

例えば、半角で「book」と入力した場合、全角「b o o k」や半角「book」などで検索されません。

- アルファベットの大文字、小文字

例えば、大文字「ABC」と入力した場合、「ABC」以外にも「abc」や「Abc」などで検索されます。

なお、上記以外の異表記については自動的に展開されないため、以下の例のように各キーワードをスペース区切りで入力し、OR 検索を行ってください。

プレイヤー プレーヤー

バイオリン ヴァイオリン

センチメートル cm

また、英文では活用形による展開が自動的に行われます。

例えば、動詞「see」と入力した場合、過去形「saw」、過去分詞「seen」、現在分詞「seeing」、三人称単数形「sees」で検索されます。

分類のセットについて

照会した分類番号を使って検索したい場合は、照会した分類番号を選択して「xxxxにセット」ボタンを押すと、自動的に検索画面にセットできます。

分類の照会と照会結果を使った検索方法については、以下をご参照ください。

- 特許・実用新案の分類照会を使うには
「[照会したFI、Fターム、IPCを使って特許・実用新案を検索するには](#)」(P.75)
- 意匠の分類照会を使うには
「[照会した意匠分類を使って意匠を検索するには](#)」(P.97)
- 商標の分類照会を使うには
「[照会した図形等分類を使って商標を検索するには](#)」(P.119)

付.B 論理式の直接入力について

「特許・実用新案検索」画面の「論理式入力」タブで、論理式を直接入力する場合の論理式の入力について説明します。検索項目ごとの入力形式や、指定できる検索項目については、ヘルプをご参照ください。

◆注意◆

論理式の中に日付指定を含めることはできません。日付指定は「特許・実用新案検索」画面の「論理式入力」タブにある「検索オプション」で指定してください。

検索キーワードと検索項目の区切り

論理式は、複数の検索キーワードを指定し、それらの検索キーワードを演算子で組み合わせて作成します。直接入力で検索キーワードを指定する場合は、検索キーワードと検索項目を示す構造タグの間をスラッシュ (/) で区切って入力します。

検索項目を示す構造タグについては、ヘルプをご参照ください。

- 請求の範囲（構造タグ「CL」）に「クラウド」を含む場合

クラウド/CL

- 全文（構造タグ「TX」）に「無電源」と「発光」の間に任意の 1 文字が含まれるキーワードの場合
ワイルドカードとしてクエスチョンマーク (?) が使用できます。

'無電源?発光'/TX

近傍検索の指定について

キーワードから検索する場合に、二つ又は三つのキーワードの間隔を指定して検索する近傍検索も論理式で指定できます。

キーワードとキーワードの間隔は 1～99 文字まで指定できます。語順の指定は、語順あり=C,c、語順なし=N,n が入力できます。

間隔の数字は、「テキスト検索対象」で「和文」を選択した場合、文字数となります。「英文」を選択した場合、単語数となります。

キーワードが二つの場合、以下のように入力します。

- 「無電源」と「発光」の間が 5 文字以内の案件を全文（構造タグ「TX」）で検索する場合の例（必ず「無電源」が先で、「発光」が後になるよう語順を指定する場合は、文字数の後ろに「C」を入力します）

```
無電源,5C,発光/TX
```

- 「無電源」と「発光」の間が 3 文字以内の案件を全文（構造タグ「TX」）で検索する場合の例（「無電源」と「発光」の語順を指定しない場合は、文字数の後ろに「N」を入力します）

```
無電源,3N,発光/TX
```

使用できる演算子について

使用できる演算子は以下です。全て半角で入力します。一つの論理式に複数の演算子を含む場合、優先順位の高い演算子が優先されます。

- 大括弧 ([])
優先順位の変更を意味します。優先順位は 1 位です。
論理式内で優先的に検索したい範囲をくくる際に使用します。入れ子での指定は三重まで指定できます。
- アスタリスク (*)
論理積 (AND) を意味します。優先順位は 2 位です。
- プラス (+)
論理和 (OR) を意味します。優先順位は 3 位です。
- マイナス (-)
論理否定 (NOT) を意味します。優先順位は 3 位です。

以下の全ての条件に合致する文献を検索したい場合

- 要約／抄録 (AB) に「クラウド」又は「システム」を含む
- 請求の範囲 (CL) に「製造方法」又は「装飾部品」を含む
- FI が「B22F1/00A」、「C22F1/00,601」のいずれかである

```
[クラウド/AB+システム/AB]*[製造方法/CL+装飾部品/CL]*[B22F1/00@A/FI+C22F1/00,601/FI]
```

以下の全ての条件に合致する文献を検索したい場合

- FI に「B22F1/00A」、「C22F1/00,601」のどちらかを含む
- 請求の範囲 (CL) に「y + z」（演算子を含め全角文字）を含む

- 優先権主張番号に「DE1985481X 2」（Xは任意の数字、Xと2の間に半角スペースあり）を含む

B22F1/00@A/FI+C22F1/00,601/FI+y+z/CL+'DE@19854811 2'/PN

◆注意◆

- 検索キーワード自体に含まれる演算子は全角で入力します。
- FIの展開記号の前にはカンマ（,）を入力します。
- FIの分冊識別記号の前にはアットマーク（@）を入力します。

▶ ヒント

論理式の直接入力での入力の一部を省略するには

同種、同一観点の検索キーワードを続けて入力する場合、丸括弧（（））を使うと入力の一部を省略できます。丸括弧を使って入力を省略しても、省略しない場合と同じ検索結果になります。

- 全文検索タグ（「ワイン/TX+ビール/TX」）を省略する例

(ワイン+ビール)/TX

- FIのメイングループまで（「D02H13/06/FI*D02H13/08/FI」）を省略する例

D02H13/(06*08)/FI

- FIのサブグループまで（「A23B4/00,101/FI*A23B4/00,505@A/FI」）を省略する例

A23B4/00,(101*505@A)/FI

- FI展開記号まで（「A23B4/06,501@C/FI*A23B4/06,501@D/FI」）を省略する例

A23B4/06,501@(C*D)/FI

- Fターム（FT）の主テーマと観点（「2F084EE02/FT+2F084EE03/FT*2F084EE04/FT」）を省略する例

2F084EE(02+03*04)/FT

除外キーワードの指定について

検索キーワードを包含する除外キーワードを指定する方法です。

演算子マイナス (-) を用いる NOT 検索では、同一文献に検索キーワードと除外キーワードの両方が含まれている場合、検索にヒットしません。

英文の拡張 NOT 検索はできません。

- 拡張 NOT 検索の場合

「データログ」、「ログデータ」などを検索したいが、「プログラム」のみを含む文献は排除したい場合の例

(「データログ」と「プログラム」の両方を含む文献はヒットさせる)

```
[ログ,NOT,プログラム/TX]
```

- NOT 検索の場合

「データログ」、「ログデータ」などを検索したいが、「プログラム」を含む文献は排除したい場合の例

(「データログ」と「プログラム」の両方を含む文献はヒットさせない)

```
[ログ/TX]-[プログラム/TX]
```

付.C 用語集

本書で使用している用語について説明します。

C

■ CPC

Cooperative Patent Classification の略称です。欧州特許庁（EPO）と米国特許商標庁（USPTO）共同で管理・使用する共通分類です。

■ CS ターム

コンピュータソフトウェア文献検索用に開発されたタームです。

D

■ D ターム

形状や模様などの観点から、日本意匠分類が細分化されたものです。全ての日本意匠分類が D タームによって細分化されているわけではありません。

F

■ FI

File Index の略称です。日本国特許庁独自の技術分類記号で、IPC のサブグループから更に細かく展開したものです。

■ FI ハンドブック

FI の詳細な説明書です。

■ F ターム

日本国特許庁独自の技術分類記号で、コンピュータ検索を前提として開発された文献の技術特徴点に付与する検索項目です。

■ F ターム解説

F タームテーマ及び F タームについて技術的な解説をしている文書です。

I

■ IPC

International Patent Classification の略称です。国際特許分類です。世界各国が共通に使用できる特許分類で、発明に関する全技術分野を段階的に細分化したものです。

J

■ J-GLOBAL

国立研究開発法人科学技術振興機構が提供する、国内の研究者や学術論文などを検索できるオンラインサービスです。

<https://jglobal.jst.go.jp/>

P

■ PAJ

Patent Abstracts of Japan の略称です。公開特許公報英文抄録で、日本国内で発行される公開特許公報の書誌、出願人、及び要約を英語に翻訳するとともに、三極会合の取決めに基づいた仕様にデータ化したものです。

W

■ WIPO

World Intellectual Property Organization (世界知的所有権機関) の略称です。世界的な知的財産権の保護を促進することを目的とした国際機関で、知的財産権に関する条約の管理などを行っています。

あ行

■ 英文抄録

各国の特許文献情報の概要を、英文でまとめた情報です。

か行

■ 区分

ニース国際分類に基づくもので、指定商品・役務を分野別に大きく区切るものです。第1類から第45類まであり、出願人が出願時に指定します。全ての商標がいずれかの区分に属しています。

■ 公開技報

本システムでは、掲載許諾を得た公開技報データのみ蓄積しています。

なお、2011年3月末をもって新たな公開技報データの提供は行わないことになりました。ただし、これまで提供されている既存の公開技報データについては、提供しています。

■ 公知資料

雑誌、カタログなどの刊行物や、企業のインターネットサイトに掲載された新製品情報から抽出し、意匠分類等の書誌情報と製品の写真などをイメージデータとして蓄積した審査資料です。

■ 国際意匠分類

世界知的所有権機関（WIPO）国際事務局が管理・運営を行うロカルノ協定に基づいて定められた分類です。

さ行

■ 周知・著名商標

異議決定・審決・判決において周知・著名と認められた登録商標です。本システムでは、異議決定については、平成18年（2006年）4月以降に発行された審決公報に掲載されたものが対象です。本システムでは異議決定、審決、判決において周知・著名な商標として認定された商標が検索できます。

■ 称呼

商標に含まれる平仮名、片仮名、漢字、アルファベットなどの文字の要素から生ずる自然な読みを片仮名で表記したもので、特許庁が審査のための検索キーとして付与します。文字の要素がない商標（図だけの商標）の場合、称呼は付与されません。

■ 商標（検索用）

商標に含まれる文字列を検索用に起こしたもので、特許庁が審査のための検索キーとして付与します。文字の要素がない商標（図だけの商標）の場合、商標（検索用）は付与されません。

■ 審査官フリーワード

検索に有用な技術用語を、審査官が指定したものです。

■ 図形等分類

商標の図形要素の分類として国際的に広く採用されているウィーン図形分類を基に、日本独自に更に細分化した分類です。特許庁が審査のための検索キーとして付与します。図形要素だけでなく、音（音商標）や動き（動き商標）についての分類もあります。文字しかない商標の場合、図形等分類は付与されません。

た行

■ ドシエ情報

世界各国に出願された特許出願（パテントファミリー出願）の手続や、審査に関連する情報です。

本システムでは、五大特許庁や WIPO-CASE 参加庁のドシエ情報（PCT 国際出願を含む）を、「ワン・ポータル・ドシエ(OPD)照会」画面で参照できます。

な行

■ 日本意匠分類

意匠に係る物品の用途に主眼をおき、必要に応じて機能などの概念を用いて構成された分類です。出願日や公知日が 2005 年以降の文献には現行の日本意匠分類が付与され、2004 年以前の文献には旧日本意匠分類が付与されます。

は行

■ ファセット

IPC の所定の範囲（例えば、サブクラス又は複数のグループの範囲）にわたって、IPC の分類展開とは異なる観点から展開されている記号です。3 つの英文字で表記されます。

ファセットを使うことで、複数の IPC にまたがった横断的な観点から文献検索ができます。

■ 不登録標章

商標法上「商標登録を受けることができない商標」のことです。本システムでは、以下の規定に該当する標章、紋章、記章、印章、又は記号について検索できます。

- 商標法 第 4 条 1 項 2 号
- 商標法 第 4 条 1 項 3 号
- 商標法 第 4 条 1 項 5 号
- 商標法 第 4 条 1 項 17 号

■ 防護標章

需要者に広く認識されている登録商標について、出所の混同が生じる範囲内において、非類似の商品などであっても防護標章として登録する制度です。

ら行

■ 類似群コード

商品・役務の内容に応じて、特許庁が審査のための検索キーとして付与するもので、類似群コードが同一の商品・役務は互いに類似すると推定されます。

わ行

■ 和文抄録

米国特許明細書（全文）などの外国語文献を日本語で要約したものです。

